



やっとう咲いた！峠の桜



展望所・東屋・駐車場を整備

毎年4月の始めには開花し、観光客を楽しませる高森峠の桜が、今年は4月7日の日曜にも開かずにつぼみのまま。いつ咲くのかと心配していたところ、峠3合目の花見の場所では15日になってやっと「チラホラ」。20日になって満開となり、たくさんのお客で賑わって安心したところです。

高森峠の桜は下から上まで約200mの標高差があり、毎年徐々に上へ上へと花開いていきます。この桜は全部で約6000本。その内訳はソメイヨシノが約5割、ヤマザクラが約3割、そしてオオシマザクラが約2割となっています。

町では平成5年度から九十九曲自然公園整備事業を行っています。平成7年度事業として展望所・東屋・駐車場などを3100万円をかけて整備し、(県2分の1補助)このほどきれいに出来上がりました。本年度も遊歩道整備や展望所・東屋の増設などを進めていきます。

町民憲章

1. 水と緑と土のにおい、いっぱいの住みよい町にします。
2. 伝統を重んじ、文化の薫る潤いのある町にします。
3. 老人を大切に、子どもの夢を育て幸せな町にします。
4. 勤労を尊び、産業を振興し活力のある町にします。
5. スポーツに親しみ、心身をきたえ健全な町にします。



平成8年5月5日発行



平成7年撮影

新しくもと百景 1位に

月廻り公園から見た景観

県内868カ所から選定。本町から3カ所も選ばれる

九州郵政局・熊本県・熊本放送・熊本日日新聞社の共催

「ふるさとの景観を二十一世紀に残そう」と、県民に広く投票を呼びかけていた「新しくもと百景」1位に「月廻り公園から見た景観」が選ばれました。

高森からはこの他に南阿蘇国民休暇村・高森温泉館から見た根子岳と日本三天下り宮として広く知られる草部吉見神社も選ばれました。私たちは素晴らしい自然と景観を有する高森を誇りに思いたいものです。

子どもたちの作品
新学期始めのためお休みします。

三月二十五日、らくだ山の野焼きをバックに、分校に赴任するシーンを撮影しようとした山田広場の上にて、機が止まり、来春あつたため撮影されることになりました。



劇映画「原野の子ら」(原作 吉田俊子氏 監督 中山節夫氏)の製作に阿蘇郡十二カ町村が支援協力することになりました。町民が力を入れる映画制作は珍しく、全国的にも注目されています。

これは阿蘇の素晴らしい自然、文化や風土などの情報を全国に発信し、観光面など阿蘇の発展に役立たせようというもので、撮影は一年をかけて郡内全域で行われます。

この映画製作にかかる費用は約一億二千万円。その内二千五百万円を十二カ町村で負担し、残りは文化庁の芸術文化振興基金と企業協賛金、入場料などでまかなわれることになっています。

高森のみなさん よろしくおねがいします。

ヒロインの鳥飼さんに優しく、たくましさを感じる。主役の鳥飼美帆さんにインタビュー。私が主役に選ばれたなんてビックリ。緊張しています。私の母は、一宮町の出身。『私の阿蘇』の素晴らしい景色を日本全国に伝えられるよう、演技面はもちろん人間的に高まっていかなくてはなりません。大好きな子どもたちやスタッフの皆さんと内面的なふれあいを大切にしながら力を合わせ、感動を与えられる素晴らしい作品にしたいですね。高森の皆さんの応援をよろしくお願いします。

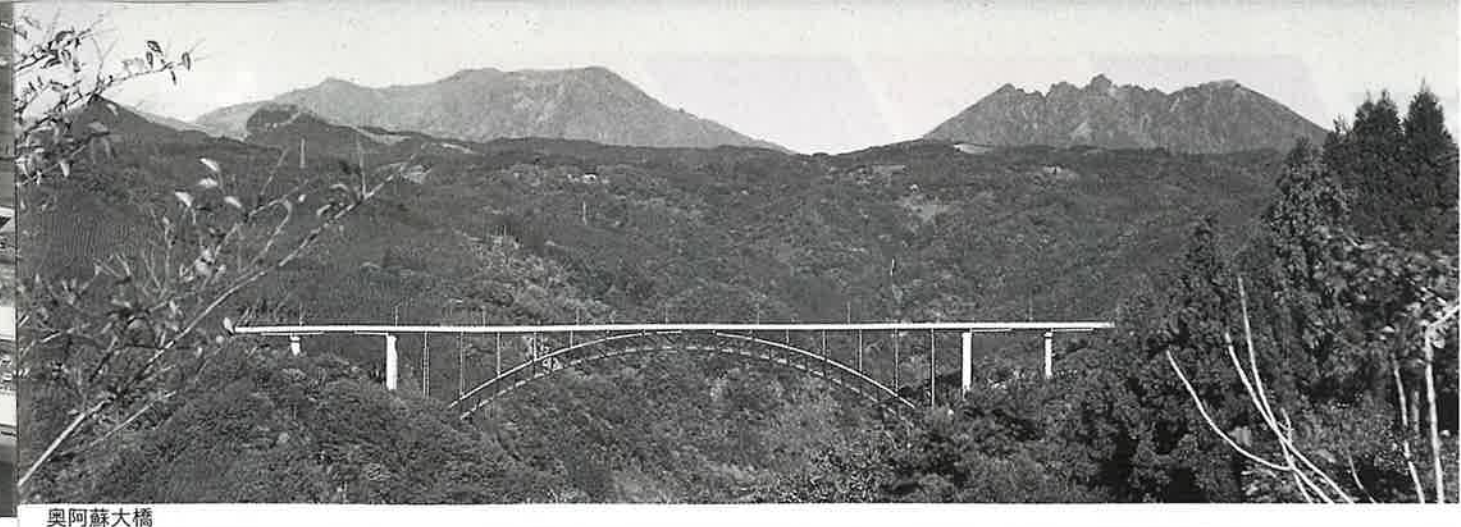
ストーリー

(映画のあらまし)

都会の学校で教えることに疲れ、阿蘇の小さな小学校の分校に赴任した女教師が、心優しい子どもたちや村人たちとふれあいが、自然の大切さや農業の厳しさを学んでいく。人間としてあるべき姿とは何か…本当の豊かさとは何か…教育とは何かをうたえる作品。

阿蘇の文化・自然・情愛を全国に発信
『原野の子ら』撮影開始





高森町役場周辺

奥阿蘇大橋

当初予算の概要

■防災関係

安全なまちづくりのために、地域防災計画の抜本的な見直しを行い、関係機関との連携・応援体制の強化、ボランティア活動の活性化と活用及び非常用物資の備蓄を行います。

また、災害時の情報伝達の重要性を考え、防災無線屋外局の増設など、情報通信体系の整備を進めます。

■土木事業

道路整備計画に基づき主要幹線道路等の改良・舗装整備事業を進めます。大戸の口・本河原線、社倉・蔵地線などの整備により住民生活の向上と地域の振興発展を図ります。

いきいきとした生活を実現するための町営住宅建設事業を推進します。旭A団地については四戸を建設し、住宅用地購入も計画していきます。

■保健・福祉

すべての住民が安心して快適に生活できるよう福祉のまちづくりを進めていきます。

在宅老人介護面では介護に関する相談・助言のサービスを向上させるため、介護支援センターの充実を図ります。

一人暮らしのお年寄りの孤独感解消と高齢者の生きがい対策のため、シルバーヘルパーの育成を進めていきます。

子育て家庭の育児不安等についての相談・指導・育児支援を

行います。

がん・エイズ等の疾病対策と予防や健康づくりを推進し、早期発見・早期治療のための各種健康診断事業を行います。本年度から十八歳から二十九歳までについても基本健康審査を行い、骨粗しょう症検診等、検診内容を充実させます。

食生活の改善を目指し、料理教室を行います。本年度から特に、一般男性対象の料理教室も実施していきます。

生活排水対策事業を進めるために合併処理浄化槽設置を推進します。また一般廃棄物やゴミ処理対策に力を入れ、ごみ収集整備事業を進めます。

■農林業

後継者対策と育成などにより、すべての分野での農林業の振興を図ります。農業者の潤いと安らぎのある豊かな生活を実現するための特色ある地域農林業の振興を図ります。

牧野火入れ助成により豊かな景観を形づくる草原を守り、受精卵移植等の畜産新技術を活用した効率的な家畜等の改良増殖などにより畜産振興を図ります。

稲作、転作を通じ、水田農業の体質強化を図り、転作等の円滑な実行が図られるように条件整備を進めます。

急増する輸入野菜に対しした野菜産地農家の強化を図り、気候に左右されることが少ないハウ

ス設置補助を行います。

産業として自立し得る農業者育成と農業経営の体質強化のために農業簿記の普及推進や女性農業者の役割強化・経営参加等を推進していきます。

南阿蘇が原産地であるナンゴウヒの振興のための苗木購入助成などにより、林業労働力対策と活性化を図ります。

林道鍋の平線の改良・舗装と広域基幹林道「阿蘇東部線」の整備及び産地形成型林業構造改善事業により林道大谷線の整備を行います。

■商工観光

商工業の安定と発展、活性化を図るため、近代化と経営の効率化、サービスの向上を促進します。

「九十九曲り高森自然公園」の整備を継続して行い、遊歩道、東屋、展望所などを増設します。また、温泉館や湧水館、奥阿蘇物産館などの観光施設や文化遺産などを結ぶ観光モデルルートを紹介し、はなしのぶコンサートや風鈴祭など各種のイベントを開催して観光の発展を目指します。

■教育

学校教育の推進はもとより、「豊かな心優しい人間性」を育む道徳教育、社会教育、生涯教育、国際交流を推進します。

「高森町同和教育推進協議会」を中心にして、社会、学校、行

政が一体となった人権学習を進めます。

学校、社会体育、社会教育施設を整備、充実し、文化財保護と大阿蘇絵画展など文化や体育振興も図ります。

■国体関係

「一九九九熊本国体」（高森は成年女子と少年男女テニス競技）開催のための地域機能とメイン会場等、諸施設の整備を行います。

■企画開発

総合的な町づくりのための企画開発を進めていきます。高原森林文化村構想の基本計画策定により、活力ある地域づくりに取り組みます。

「人づくりとまちづくり」のために、民間の地域づくり団体「高森町活性化研究会」等の活動を推進します。

■水資源対策

高森湧水館の進入路拡幅、トンネル内整備などを行い、水辺公園として観光面でも活用していきます。また草部地区等の簡易水道事業の整備を行います。

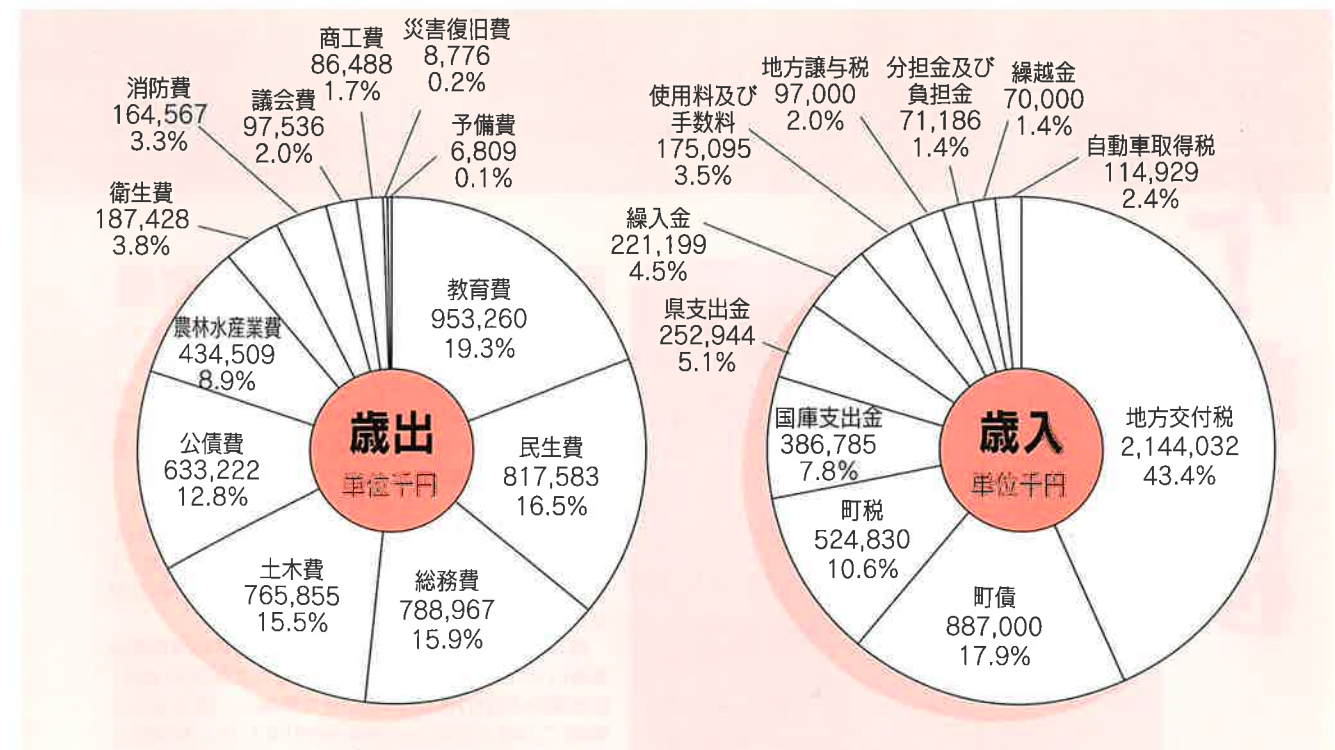
■その他

雄大な阿蘇の自然を題材にした劇映画「原野の子ら」の製作を郡内十二ヶ町村で取り組むことになりました。これは阿蘇の情報発信、観光振興等に役立たせようというもので

平成8年度一般会計当初予算

49億4500万円

本年度の予算編成は、町税収入と地方交付税が伸びず厳しい状況にあることにより、必要な財源確保のため経費の節約と合理化及び、町振興計画、過疎地域活性化計画を基本に、真に必要とされる施策を推進するほか、景気の動向に十分配慮して質的に充実した予算編成を行いました。（前年度当初予算比4.8%の増）今後も行財政改革の推進と財政の健全化により、限られた財源を効率的に活用して「地域福祉」「安全なまちづくり」「活力あるまちづくり」を進めていきます。





就任のごあいさつ

3月の定例議会において、議会議員の皆様のご同意を得て、4月1日付けで大役を拝命致しました。皆様 どうぞよろしくお願い致します。

高森町収入役
後藤 萬藏



高森町助役
相馬 忠幸

今日の金融情勢は、昨年からの公定歩合の引き下げなどで、町財政にも厳しい影響を与えているのが現状であります。

また、行政の施策も年々高度化し、多岐にわたる緻密な行政執行が求められるようになり、その道に携わる者として、あらためてその責任の重さを痛感いたしております。

この様な中、不肖わたくし、微力ではございますが、「町の金庫番」として適正なる予算の執行に努め、会計業務はもとより、町発展のため、誠心誠意、努力を重ねてまいる所存でございます。

今後とも一層のご指導とご協力の程、お願い申し上げます。就任のごあいさつと致します。

顧みますと昭和35年に奉職して以来36年有余の間、ただひたすらに全体の奉仕者として職務に精励してまいりましたが、今日あるも町民の皆様方の温かいご指導とご協力の賜と、心から感謝申し上げます。

近年、地方行政を取り巻く諸情勢は極めて厳しい状況にあります。首長の施政方針に従い、自然と文化の薫り高い住みよい町づくりと住民福祉の向上を目指して誠心誠意努力する覚悟でございますので何卒、より一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

町民皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。就任のごあいさつと致します。

町から駐在区への文書は毎週水曜日に発送し、その後各区内に回覧文書が回ります。回覧文書には町からの大切なお知らせが書いてあります。回覧を良くご覧になり、早めにお隣りに回しましょう。



1【村山】田上安盛 2【上在】野尻昭光 3【天神】得丸富幸 4【上町】荒牧重則 5【旭通】荒牧真昭 6【昭和】津留寅一 7【下町】塚本保雄 8【横町】宮内威真一 9【冬野】岩下 裕 10【森】岩下頼利 11【津留】津留光義 12【洗川・大村】榎木野徳繁 13【中原】堀田義宗 14【前原・小倉原】勝木忠男 15【色見1】宇藤朋喜 16【色見2】岩下直康 17【草部】阿南哲文 18【芹口】大内田 親 19【富山】田代利美 20【永野原】安藤健一 21【下切】甲斐利信 22【中】岡部義武 23【矢津田】渡辺眞佐末 24【津留1】野尻典歳 25【津留2】佐藤邦廣 26【野尻1】森本新一 27【野尻2】瀬井公正 28【尾下1】甲斐昭一 29【尾下2】児玉末子 30【河原1】後藤不仁男 31【河原2】白石年男

なお、駐在員互選により、駐在員会長に野尻2区の瀬井公正さんが選任されました。(敬称略)

町駐在員さんの任期は二年で今年が新旧交替の年。四月十一日、駐在員の皆様へ囑託書の交付を行いました。

本町の駐在員さんは三十一名。それぞれに回覧文書などによる町からの連絡を伝えていただいたり、町への提出文書を取りまとめていただいたりと行政上の重要な役割を担っていただいています。また地区のまとめ役としても活躍されていますので、住民の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

今回勇退された方々は次のとおりです。大変お世話になりました。(敬称略)

【上在】上村政秀【天神】木崎喜代臣【冬野】渡辺 警【中原】佐伯定徳【前原・小倉原】後藤和昭【色見1】安方慶喜【色見2】岩下利吉【草部】佐伯昭弘【永野原】西川慶喜【下切】工藤明善【中】二子石一蔵【矢津田】井上恵【津留1】甲斐純雄【津留2】大崎高士【野尻1】野尻惟通【尾下1】井芹健児【尾下2】甲斐助廣【河原1】後藤末士【河原2】吉良山友二

阿蘇広域行政消防本部 TEL 0967・34・0024



消防署だより

より高度で専門的な救急処置ができる資器材を備えた「高規格救急車」を導入しました。また、「救急救命士」も誕生し、車載電話回線を利用した伝送装置で医師の指示のもとに「輸血」などの処置も可能になりました。中部消防署に配備されていますが、重い症状の患者さんの場合に、各分署と同時に出動して中継・搬送を行います。しかし大切なのは救急車が来るまでの間に、いかに適切な応急処置が行われるかです。

今後も「救急講習会」を開催していきますので、皆さんの積極的な受講をお願いいたします。

自動車運転 適正診断



画面に映る道路を模擬体験走行。コースと内容は4段階に分かれており、しだいに難しくなります。ブレーキやクラクションなどの指示が出て、いかに素早く対応できるかをコンピューターが診断します。

シートベルトコンベンサー体験



時速7kmで障害物に衝突したときの衝撃度を体験。シートベルト着用と未着用をそれぞれ体験して、参加された方はシートベルトがいかに大切かを実感されていました。

自分の手足で身体を支えられるのは時速7kmまで。シートベルトは本当に大切な「命綱」です。運転席、助手席はもちろん、後部座席での着用も忘れないようにいたしましょう。

四月十一日、林業総合センターで町と阿蘇南部地区交通安全協会、高森警察署の共催により、シートベルトコンベンサー体験と運転適正診断が行われました。

体験参加された方々はシートベルトの重要性和、運動能力の低下は危険な運転につながりかねない重大なことに再認識されました。



シートベルトは命綱
事故につながる
運動能力の低下



事務内容と部署ご案内

高森町役場 / 課・所・局・室 配置表

平成8年4月1日現在

2階

1階

農林振興課 農林振興課長 芹口 誓彰 ■農業振興係 農水産業・畜産振興、農林業地域改善対策事業、就業者の指導育成等に関する事。 ●係長 田上美男 ○係 甲斐峰雄 佐藤武文 ■農地係 農地等の調整、米穀等主要食糧の管理・販売、農業委員会、農業者年金、農業構造改善事業等に関する事。 ●係長 佐伯実範 ○係 後藤和幸 田上浩尚 村嶋立章 ■林業振興係 林業の振興、治山事業、林業構造改善事業等に関する事。 ●係長 甲斐末久 ○係 工藤英二	電算室 議場
議会事務局 議会事務局長 二子石 範男 ■庶務係 町議会の開催・運営・経理、議員互助・共済、町予算監査、選挙の実施等に関する事。 ●係長 岩下茂己 ○係 高木恵美子	教育委員会 教育長 松野 清 事務局長 岩下 弘三 ■学校教育係 町立小・中学校等の学校教育予算、事務局・教育機関の給与人事等に関する事。 ●係長 岩下昭久 ○係 河崎みゆき ■施設管理係 学校・社会教育施設の管理運営・整備拡充等に関する事。 ●係長 長尾和博 ■国体推進係 国体の開催準備、運営等に関する事。 ●係長 山村將護 ○係 安方 含 ■社会教育係 社会教育、文化財、公民館活動、文化・体育等の振興に関する事。 ●係長 後藤正三 ○係 秋山清二 ○社会教育指導員 児玉邦男 杉本隆雄 ○英語指導助手 ビクター・バルゲンティ ○公民館図書室 岩下そのえ
議会委員会室	
水資源対策課 水資源対策課長 住吉 五夫 ■維持管理係 水資源の保護、開発、水道使用料の賦課徴収、農業用水、水質検査等に関する事。 ●係長 杉田則秋 ○係 岩田秋広 岩下雅広	

野尻出張所	野尻出張所長 岩下 健治 TEL.09676-5-0211 FAX.5-0212
■野尻地区内の防災・防犯、戸籍、住民基本台帳関係の転入出届出受理、印鑑登録及び各種証明等に関する事。 ●住民係長 橋本和則	

草部出張所	草部出張所長 合志 盛隆 TEL.09676-4-0211 FAX.4-0212
■草部地区内の防災・防犯、戸籍、住民基本台帳関係の転入出届出受理、印鑑登録及び各種証明等に関する事。 ●住民係長 甲斐敏文	

退職 ▼宮村春幸(建築課土木係) ▼宮地悦也(野尻出張所長) ▼後藤萬藏(会計室長) ▼相馬忠幸(総務課長) ▼住吉ハワエ(高森小給食調理従事員) ▼後藤京子・熊川孝子(高森東中給食調理従事員)	保育園関係職員 ■色見保育園▽主任 保母 瀬井類子▽保母 岩下美智 佐藤さおり▽給食調理員 安方カツエ ■草部保育園▽主任 保母 武田喜久美▽保母 堀田美幸 三森通江 ■草部北部保育園▽主任 保母 熊谷優子▽保母 伊藤貴美恵 ■野尻保育園▽主任 保母 野尻須恵子▽保母 興柏とめ子 工藤淳子▽給食調理員 野尻秀子 ■河原保育園▽主任 保母 竹原美和子▽保母 高木恵美	学校関係職員 ■高森小学校▽給食共同調理場▽給食調理従事員 古庄智美子 田上マチヨ 荒牧とも子 緒方光代 岩下美子 中川雄一朗 ▽用務員 平松満智子 ■高森中学校 ▽用務員 本多小代子 ■高森東中学校▽給食共同調理場▽給食調理従事員 山永千夜子 本田文子 原克子▽用務員 甲斐明美▽運転士 城井若生 栗焼憲章 甲斐武敏
--	--	--

町長 今村 博信

庁議室

助役 相馬 忠幸

総務課 総務課長 有働 和幸

- 行政係
消防団、防災、条例の制定・改廃、職員の人事、給与、福利厚生等に関する事。
- 課長補佐兼係長 渡辺哲郎 ○係 安藤吉孝 福永輝子
- 電話交換手 橋本加奈子
- 管財係
町有建物、町有林、車両などの町有財産全般と電算組織の管理・運営・調整等に関する事。
- 係長 広木富八 ○係 白石一弘 丸山雄平
- 広報統計係
広報、自衛隊、交通安全対策、統計等に関する事。
- 係長 岩下光廣 ○係 岩下公治
- 熊本県庁出向 後藤三治

コピー・FAX機器

町民福祉課 町民福祉課長 岩下 靖彦

- 保健衛生係
保健衛生、狂犬病予防、母子保健、墓地及び改葬等に関する事。
- 係長 中尾篤志 ○係 津留大輔 ○保健婦 橋本今朝子 野中裕美子 ○栄養士 宮本直美
- 福祉係
老人・児童・母子・身障福祉、援護法、同和対策福祉事業、国民年金等に関する事。
- 係長 二子石衛 ○係 色見継治 佐藤幸一 後藤一寛 眞原友紀(新規採用)
- 町民係
転入等の住民異動、戸籍、住民票、印鑑等の各種証明等に関する事。
- 係長 甲斐昭文 ○係 東 幸祐 馬原恵介

建設課 建設課長 岩下 生人

- 土木係
道路、河川、橋梁、溝渠等に関する事。土木災害に関する事。
- 係長 後藤秀希
- 係 甲斐邦博 阿部恭二 野尻光也 勝木 歩(新規採用)
- 建築係
町有営造物の建築、営繕、建築基準法等に関する事。
- 係長 瀬井公吉郎
- 係 佐伯 実

企画課 企画課長 阿南 哲也

- 企画財政係
町振興計画策定、予算・財政、町勢の調査・統計等に関する事。
- 係長 村上源喜
- 係 沼田勝之 荒牧 久
- 開発推進係
地域開発、企業誘致、地域振興計画、環境保護等に関する事。
- 係長 古澤建生
- 係 阿南一也
- 温泉管理係
- 係長 色見隆夫

商工観光課 商工観光課長 田上 眞一

- 商工観光係
商工業・観光振興、観光PRに関する事。
- 係長 桐原一紀

税務課 税務課長 岩下 紀久雄

- 地籍調査係
地籍調査、同実施推進委員会、国土調査法等に関する事。
- 係長 甲斐利男 ○係 岩下 徹 高崎康誌
- 固定資産評価係
固定資産の調査・評価、同審査委員会運営等に関する事。
- 係長 村嶋兵志郎 ○係 甲斐達志 井上寿一
- 国民健康保険係
国民健康保険税の財務、賦課徴収、保険給付、老人医療等に関する事。
- 係長 佐伯秀和 ○係 安藤敏夫 後藤健一
- 課税係
町税の賦課・徴収等に関する事
- 係長 谷川元清 ○係 古庄秀子 古沢要介

収入役室 収入役 後藤 萬藏

収入役室長 熊谷 征男(会計係長兼務)

- 会計係
現金、有価証券等の出納・保管、記録、支払の審査、決算調整、物品の取得管理、用品調達基金関係等に関する事
- 係 古庄良一 松本満夫

町民ホール

玄関入口

TEL 09676 2-1111 FAX 09676 2-1174



3/29 先生退任式

教職員異動

大変お世話になりました

今年も4月1日付けで町内の先生方の異動がありましたので紹介します。
退職・異動で本町を去られる先生は23名。子どもたちは先生方との素晴らしい思い出をつくり、先生たちのご恩を忘れることなく、きっとどこかで再会できることを願っていることでしょう。緑いっぱいの季節到来。ぜひ、また遊びに来て下さい。
そして新しい先生方を高森にお迎えしました。高森の自然を愛し、町の心優しい子どもたちと元気にいろんな経験をしたいと、みなさん張り切っておられます。高森の子どもたちをどうぞよろしくお願いします。

がんばります よろしくお願ひします

新しい先生紹介



興梧 真紀

- ①講師
- ②菅尾小学校
- ③白水村
- ④体を動かすこと

⑤隣の白水村で生まれて、阿蘇山を見ながら大きくなりました。高森町の子どもたちとの出会いを本当にうれしく感じています。色見での生活を楽しみたいと思います。



野中 里美

- ①教諭
- ②檜木野小学校
- ③波野村
- ④草木染め

⑤阿蘇の自然が大好きになり、阿蘇に残ることに決めました。野草に興味があります。高森の地域のこと、自然のことをもっともっと知りたいと思っています。子どもたちと一緒に学習していきます。



松尾 美香

- ①養護助教諭
- ②
- ③長崎県福江市
- ④華道(教補)

⑤長崎県の海に囲まれた五島列島から、山に囲まれた阿蘇へと来ましたので、環境の違いにまだ戸惑っておりますが、楽しくやっていこうと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



綿貫 美穂

- ①教諭
- ②玉名町小学校
- ③北九州市
- ④スポーツ、バドミントン

⑤雄大な自然に迎えられ、大変感激しました。あわて者の私ですが、根子岳のようにじっくりと腰をすえて、子どもたちや地域の方々と過ごしたいと思います。

- ①職名 ②前任校名
- ③出身市町村名
- ④趣味・特技など
- ⑤抱負・その他

掲載は順不同。上から下に見て下さい

色見小学校



伊和 千鶴子

- ①校長
- ②古城小学校
- ③阿蘇町
- ④アマチュア無線(JF6VER)、土いじり

⑤根子岳、高岳、中岳の大自然の景観に魅了される毎日です。人情豊かな風土の中で、子どもたちをはじめ、多くの人たちとのふれあい・学びあいをモットーとしていきたいと思っています。

町活性化研究会 まち発展への提言

3月28日、高森町活性化研究会の提言式と活動報告会が行われました。同会は昨年8月7日に町から委嘱状を交付し、これまでに地区や職域などあらゆる分野から結集した19人のメンバー(ジュークボックス)の奉仕的精神により「イモモニター」や「食のシンポジウム」などの「まちおこし」のための具体的な活動が積極的に展開されてきました。

この取り組みが2年目に入ることにより、これまでの活動で得たノウハウを、町の発展に生かして欲しいと提言書が町に提出されました。



提言のあらまし

提言1 「九州」山間地在来種農産物保存センター」の設立

今や世界の農業は「種子戦争」だと言われています。本町をはじめとする山間地は在来種農産物の宝庫です。専門の学識者を動員し、九州山野地に眠るあらゆる在来種農産物を調査、収集してそれを保存するセンターの誘致と設立に向けた取り組みを提言します。

提言2 「根子岳市場」の開設

農業者の高齢化と後継者不足が農業の衰退を早めていると言わざるを得ません。各農家の家庭菜園で栽培されている在来種農産物の総合販売所を作り、地域の活性化と触れ合いや交流の場としても活用できる体制づくりが必要で、特産品協会などの推進母体を組織化し、「これぞ高森の特産品」とPRできる特産農産物市場「根子岳市場」(仮称)の開設を提言します。

提言3 「農村民宿」の奨励

大規模テーマパークの時代は終わり、やがて「グリーンツーリズム(農村観光)」の時代だと言われています。とりわけ自然景観豊かな本町では農家所得の向上策としても「農村民宿」への取り組みは価値あるものと思われる。確かに農業者が全く異なる種の宿泊業を営むには大きな不安がありますが、農村民宿でその土地固有の伝統食を味わい交流をしたいという旅行者の声が増しに高まっていることを知って下さい。様々な技術とノウハウの蓄積により、「郷土食と宿泊のまち」づくりを提言します。

提言4 「交流の森」づくりの推進

都市部などで無秩序、無計画な開発が客足を遠のかせる現実はいたるところにあります。高森に訪れる多くの人は「高森」の地名から「森の町」を連想し、自然豊かな景観に

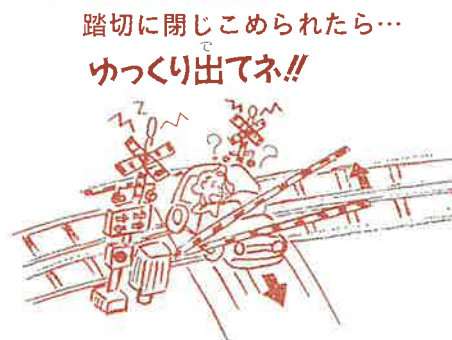
提言5 「味(あじ)な高森研究会」の発足を

高森には古くから、優れた料理人がたくさんおられます。「食」産業の振興のためには、これからもプロの調理人の方々による指導体制と実働化が何よりも必要です。町の伝統食の発掘と洗練化、情報の交換・収集・発信を目指す「味な高森研究会」(仮称)の発足を提言します。

踏切事故注意

踏切に入る前には必ず一旦停止！
警報器が鳴っていたら踏切に入ってはいけません。

もし、踏切に閉じこめられたら？
そのままゆっくり前に進むとポールは上がります



踏切に閉じこめられたら…
ゆっくり出てネ!!

非常時の通報は、踏切の非常ボタンを押してください。

鉄道警察隊

TEL 096・352・4887

JR九州熊本信号通信指令
TEL 0120・40・5889

草部中学校 うやま 右山 拓士 たくし ①校長 ②志柿小(本渡市) ③牛深市 ④魚釣り ⑤初めての中学校赴任。初めての阿蘇での生活。身も心も引きしめる思いがしています。草部中学校の校風と伝統を受け継ぎ、さらに新風を吹き込むべく、努力してまいりたいと思っています。	高森東中学校 野田 文隆 ①教頭 ②長陽中学校 ③高森町 ④サキソホーン演奏、柔道初段 ⑤私は高森町・天神の出身です。地元にもどってきて、大変うれしく思っています。教科は音楽です。この豊かな大自然の中で、人間性豊かな生徒を育てていきたいと思っています。	高森東小学校 山崎さおり ①養護教諭 ②新任 ③熊本市 ④ピアノ ⑤かわいい子どもたちと優しく楽しい先生方。素晴らしい校舎と見渡す限り大自然に囲まれて、張り切っています。阿蘇の寒さに負けないよう、心温かい保健室づくりに頑張ります。
まつざき 松崎 毅 こわし ①教諭 ②西原中学校 ③小国町 ④特になし ⑤草部中で体育を担当します松崎です。16年ぶりの高森町勤務となりました。生徒の皆さんと共に勉強したいと思います。	大橋 政弘 ①教諭 ②出水中(熊本市) ③城南町 ④バスケットボール ⑤このたび、高森町でお世話になることになりました。このような大自然の中で働けると思ううれしさがこみ上げてきます。これから地域の皆様と協力し合い、より良い高森町になるよう頑張ります。	高森中学校 はさま 狭間 卓史 たかふみ ①教諭 ②高森東中学校 ③高森町 ④球技、野山散策、山菜採り ⑤高森町内5年目になります。人情豊かで、県内一の景観のこの町で勤務できることを嬉しく思います。たくさんの人との出会いを大切に頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。
市野 晴美 ①事務職員 ②新任 ③えびの市(宮崎県) ④音楽鑑賞、ギター演奏、スケート ⑤このたび事務の新採で草部中に赴任してまいりました。高森町については田楽などで知っていましたが、移り住んでみて星がとてもきれいだということに気づき、感激しています。	はまたけ 濱武 正子 まさこ ①事務職員 ②小池野小学校 ③熊本市 ④手工芸 ⑤自然に恵まれた高森での生活を満喫したいと思っています。頑張りますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。	よねもり 米森 一邦 かずくに ①教諭 ②菊池北中学校 ③大津町 ④これから見つけていきます ⑤この高森の地を訪れて最初に思ったことは「何て人情味溢れる町だろう」ということでした。人と人とのつながりが強いこの高森で、生徒たちはもちろん、地域の皆さんとふれあっていきたいです。
りな 緒方 里奈 りな ①講師 ② ③西原村 ④映画鑑賞、スポーツ観戦 ⑤初めまして、緒方です。出身は同じ阿蘇の西原ですが、草部に来たのは初めてです。一日も早く、草部に慣れたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。	宮原登志子 ①栄養職員 ②蘇陽中学校 ③大牟田市 ④推理小説などの読書 ⑤根子岳を望む美しい景観の学校に変わり、「心機一転」です。何事にも初心で仕事にあたっていき、学校、地域に早くとけこんでいきたいと思っています。	せいご 市原 成悟 せいご ①講師 ②江原中(熊本市) ③熊本市 ④特にありません ⑤まず始めに感じたことは、とにかく寒いというのに驚きました。ですが、周りの環境のすばらしさに感動しました。一年間、とにかく頑張ります。子どもたちは明るく、素直なのでやる気が出ます。

高森小学校 櫻井 美貴 ①教諭 ②八嘉小(玉名市) ③熊本市 ④ドライブ ⑤四月から高森にお世話になることになりました。雄大な自然に囲まれた高森で生活できることを嬉しく思います。(四月というのに雪が降るのには驚きましたが)頑張りますので宜しくお願いします。	やすお 渡辺 泰生 やすお ①教諭 ②木倉小(御船町) ③阿蘇町 ④スポーツ・スポーツ観戦 ⑤このたび、上益城郡御船町の木倉小学校から赴任してまいりました。高森の四季の素晴らしさを味わいながら、純粋な瞳をしている高森っ子と元気に野山やグラウンドを走り回ろうと思っています。	大津眞佐子 ①教諭 ②阿蘇西小学校 ③菊池市 ④剣道 ⑤阿蘇の大自然に咲く野の花のように、大地にしっかり根をはって美しく、たくましく育つよう、子どもたちをしっかり支援していきたいと思っています。
吉弘貴美代 ①教諭 ②泗水小学校 ③熊本市 ④テニス ⑤高森の風景が大好きで、学生のころは友達とよく遊びに来ていました。ここに赴任できたことを嬉しく思っています。子どもが何でも言いあえるような学級を作るようがんばります。	市原 恵子 ①教諭 ②山鹿小(産山村) ③一の宮町 ④ビデオ鑑賞、書道 ⑤山の中を探検するのがとても好きです。温泉につかてのんびりすることも好きです。桜の花も大好きです。高森には私の好きなものがたくさんあるので、町をきっと大好きになるでしょう。	野上 千秋 ①教諭 ②蘇陽小学校 ③阿蘇町 ④魚釣り、珠算 ⑤阿蘇町出身の私ですが、根子岳を間近に臨む南郷谷の大自然の素晴らしさには本当に感動してしまいます。高森小に根をおろして、子どもたちと共に、いろいろなことに挑戦していきたいと思っています。
草部南部小学校 中嶋 義徹 ①校長 ②砥用中学校 ③砥用町 ④エッセイを読むこと ⑤素晴らしい自然、伸び伸びとした子どもたち、誠実な先生方、献身的に学校に協力して下さる地域の方々に接し、感動と感謝の気持ちでいっぱいです。家庭、地域、関係機関等と連携を密にし、教育に精進する所存です。	藤岡 ミキ ①教諭 ②菅尾小 ③高森町 ④園芸、旅行 ⑤高森小、色見小へ在職、それから4年間蘇陽町に出て、母校上色見小に帰ってきました。後輩になる子どもたちと一緒に、故郷へ少しでもご恩返しができるよう、頑張りたいと思っています。	上色見小学校 東 貞幸 ①校長 ②中央東小学校 ③小川町 ④魚釣り ⑤高森には初めて来ました。小鳥のさえずり声の聞こえる自然豊かな上色見に赴任し、たいへんうれしく思っています。何ごとにも一生懸命取り組む子どもたちの姿に心をうたれる毎日です。
ひろあき 福田 洋明 ひろあき ①教諭 ②久木野小学校 ③八代市 ④スポーツ ⑤阿蘇の雄大な自然に囲まれた草部南部小。子どもたちも明るく元気いっぱい、勇気づけられる思いです。失敗を恐れず、子どもたちと一緒に、いろんなことにチャレンジしていきたいと思っています。	甲斐 由美 ①養護助教諭 ②高森東小学校 ③高森町 ④バスケット、茶道 ⑤とても懐かしい感じのする木造校舎。そこから眺める根子岳はとてもすばらしいですね。小鳥のさえずり、子どもたちの明るい笑い声に囲まれながら、いろんなことを学んでいきたいと思っています。	林田 隆一 ①教頭 ②津森小(益城町) ③西原村 ④ ⑤高森町は18年ぶり。二度目の勤務になります。私は新任以来、ほとんど阿蘇郡で過ごしてきましたので、阿蘇には特別の思いがあります。任地の上色見小で精いっぱい頑張りたいと思います。



皆さんが楽しみにしていた4月16日(火)の咲の花見は、開花もまだまだ、天候も悪くて中止となり、中央公民館での「弁当開き」となりました。

子育てサークル 風まるキッズ 活動中

子育ての悩み 話し合いましょう
毎週火曜日10時からお昼まで
高森町中央公民館(昭和)
おたずねは保健衛生係までどうぞ

町の「子育て教室」が、子育てサークル「風まるキッズ」というお母さんたちの自主活動に結びつきました。
子育てをむずかしく考えると、悩みを一人で抱え込んでしまう心配があります。
子どもと楽しく遊びながら、日頃の子育ての悩みを、みんなが気軽に話し合ってみましょう。

家庭教育

子どもたちの
すばらしい
心と身体を
育むために

Family
Moral
Education

「風まる」キッズ活動報告

みなさんの声から

気軽な気持ちで参加が、多くになりましたね。(二十八人位)
とにかく「子育て」を難しく考えないようにしています。

■定例会(毎週第三火曜)の参加が多くなりましたね。

■子ども同士でも遊べるし、私たち母親も友達ができるし、いろんな話が和気あい合いとできます。

■「井戸端会議」ができますので、高森に初めて来られたお母さん方にも気軽にきていただきたいですね。

■この取り組みはまだ始まったばかりです。みんなで知恵を出し合って、いろんなことをしてみたいので、たくさんのご参加をお待ちしています。

叱り方について

昨年の子育て教室 皆さんの声から

▼特に三歳までの間は、親や家族は子どもに対して、スキンシップで愛情を注ぎ、適正、的確なしつけをしましょう。
▼時間は短くても、子どもとの対話を欠かさず続けましょう。

▼私が叱る(たたく)と、その子が下の子を同じように叱ります。弱い者に向かうようになってしまっただけですね。これがイジメの原点と言われています。

▼他の子どもに見えないように、叱る子どもだけを叱っています。

▼イライラして、どうしても叱ってしまう私。いつも自己嫌悪に陥っています。

▼叱れば「メンなさい」とすべに謝りますが、ただ反射的に謝っているだけで、心から反省しているのではありません。

▼叱つたら何かのところで誉めることも大切。あるいは父親が叱つたら、母親が慰め諭すことが大切。子どもにも「逃げ場」を。

▼子どもの悪いところばかり目につく私。良いところにも目を向けたいと思います。

▼叱り方にも愛情を!

再掲載の要望にお応えしました。(「体罰と誉めるしつけ方」については、本誌の平成六年九月号をご覧ください。必要な方は差し上げます。連絡ください。)

広報たかもり

子ども育児相談

問 うちの子は「うわさ話」をよく話題にしているようです。精神発達上での問題ではありませんか?

答 うわさ話は面白いものです。ので、精神上未発達な子どもたちはすぐに信じ込んでしまいます。うわさ話が面白いのは無責任な匿名性を持っていること、日頃のうつぶんをそのうわさ話で発散させようとする心理がはたらいています。当事者がそばにいないので、言いたいことが言えるし、当人から反論される恐れもないという安心感もあります。

うわさ話にも色々ありますが、スキャンダルに近いうわさ話に興味を持つというときは責任感が薄く、自立の意識が乏しいように思われます。自分の意見を相手に述べ、一つの論点をめぐって相手の意見も聞き、それぞれの考えを深めていくようにならないようにしましょう。

子どもに限らず、単なるうわさ話に没頭するというのはやはり問題です。自分を高める話題に興味を持つように、親や家族も自己を高めながら、子どもたちを導いてやりましょう。

託摩武俊著「のびの子育て」から



改訂 離乳の基本

問 今回、十五年ぶりに離乳の基本が見直された背景は?

答 赤ちゃんを取り巻く環境は一九八〇年当時と比べると、ベビーフードの普及や食べ物を手頃に噛めない子どもが増えるなど、これまでの「離乳の手法」では実態にそぐわない点が多く出てきたために改訂の必要が生じました。

問 今回の改訂どおりに離乳を進めなければならぬのですか?

答 子どもにはその子ども一人ひとりの個性(成長の度合い)の違いがあります。したがって今回の改訂でも離乳の初期、中期、後期完了期が5ヶ月、6ヶ月、7ヶ月、8ヶ月、9ヶ月、11ヶ月、12ヶ月、15ヶ月と、それぞれ幅を持たせてありますから、一つの目安としてとらえながら、あわてず急がず進めましょう。

問 離乳完了期は12ヶ月、15ヶ月、遅くとも18ヶ月とかなり幅を持たせてありますね。

答 離乳の完了とは最初の

離乳食の進め方の目安

区 分			離乳初期	離乳中期	離乳後期	離乳完了期
月 齢（か月）			5～6	7～8	9～11	12～15
回 数	離乳食（回）		1→2	2	3	3
	母乳・育児用ミルク（回）		4→3	3	2	※
調理形態			ドロドロ状	舌でつぶせる固さ	歯ぐきでつぶせる固さ	歯ぐきで噛める固さ
1 回 当 た り 量	I	穀類（g）	つぶしがゆ 30→40	全がゆ 50→80	全がゆ（90→100）→軟飯 80	軟飯 90 →ご飯 80
	II	卵（個）	卵黄 2/3以下	卵黄→全卵 1→1/2	全卵 1/2	全卵 1/2→2/3
		又は豆腐（g）	25	40→50	50	50→55
		又は乳製品（g）	55	85→100	100	100→120
		又は魚（g）	5→10	13→15	15	15→18
		又は肉（g）		10→15	18	18→20
	III	野菜・果物（g）	15→20	25	30→40	40→50
	調理用油脂類・砂糖（g）	各 0→1	各2→2.5	各 3	各 4	

※牛乳やミルクを1日300~400ml

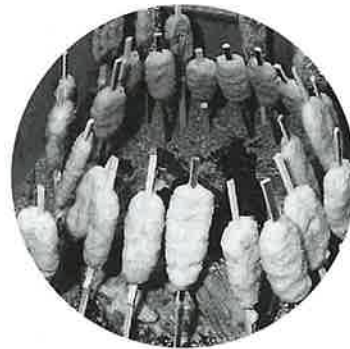
前に離乳食をやめると、よく噛めなくなってしまうので、左の表はあくまで目安です。で、乳児が嫌がるときには強制せず、楽しくおいしい食事ができるような環境や雰囲気を作ることが大切です。

郷土料理コンテスト1位に 馬原清子さん

阿蘇保健所が昨年12月初めまでに募集した阿蘇の郷土料理コンテスト主食の部で、本町の馬原清子さん(旭通)の「芋たんぽ」が総合1位に入賞しました。これは阿蘇の豊富な食材を生かし、郷土の料理を健康に役立ててもらおうと行われたもので、主食の部の他、惣菜、おやつ、漬物の各部に味とアイデアに優れたたくさんの作品が展覧された中から選ばれたものです。



「キリタンポ」をもじって「芋たんぽ」と命名。簡単でおいしいですよ。



【作品名】「芋たんぽ」
ポイント 小さな芋、大さすぎる芋も田舎風に有効に利用でき、お米の消費拡大にもつながります。

【栄養価】一人分二本 エネルギー 201 Kcal、蛋白質 7.2 g、脂質 2.4 g、カルシウム 106 mg、鉄 1.5 g、塩分 2.5 g

【材料】(二人分二本)
ご飯 60 g、里芋 60 g、塩 0.2 g、スキムミルク 4 g、醤油 10 g、砂糖 3 g、ごま 3 g、田舎味噌 12 g、青のり少々

【作り方】①里芋は皮つきのまま20分ゆでる。②ご飯と皮をむいた里芋をすりつぶし塩を加えてこね合わせる。③②を二つに分け、醤油味用と味噌味用にする。60 gずつ串に刺してオーブンで3分ほど焼き、さらにそれぞれのたれをつけて3分間焼く。炭火で焼くとさらにおいしくなります。またダンゴ状にして水炊きにも適しています。

林業の発展と共に人・物・文化を運ぶ

林業ニュース
FORESTRY NEWS

県事業 広域基幹林道 阿蘇東部線起工式

広域農道と町道大戸の口・本河原線と交わる大字河原・上玉来



大分が…福岡が近くなる

県と国では、停滞する林業の発展を目指して、本町と波野村を縦断する広域基幹林道の事業計画を平成四年度から進めてきました。

これは、林道整備が来るべき国産材時代を実現するために不可欠なものであるという認識から進められたもので、この道路の完成により森林産業などの効率化を図るために有効に利用されることとなります。

また、林業関係のみならず、道路は生活の基盤とも言えるもので、この道路の完成により、隣村の波野はもちろ

ん、大分、福岡方面からと各方面への人や物の流れが進み、文化や経済面の交流でも役立つものです。

四月十二日、大字河原、上玉来の工事起点で起工式が行われました。

全長二、二kmの内、本町側の工事区間は二、二km。本年度は二二〇m工事が進められることになっています。

線名 広域基幹林道・阿蘇東部線
波野・笹倉・高森・河原
延長 12.2 Km (本町2.2 Km)
幅員 7.0 m



特集

ゴミ問題

ゴミで野山を汚さないで!

■ゴミ収集に関する詳しいことは…
役場保健衛生係までどうぞ。
電話(2)11111 内線128番

クリーンセンターに持ち込まれる高森の年間のゴミ量は約1,800トンで年々増加しています。また、残念ながら下の写真の様に野山に捨てられるゴミも年々増加しています。家庭から出る一般廃棄物は必ず決められた日時、場所にゴミ収集場所に出しておくか、クリーンセンターに直接持ち込んでください。また、電化製品や家具などの粗大ゴミも直接持ち込みができますが、毎月4日から12日にかけて町内各所で収集される時に持参していただくこともできます。(詳細は保健衛生係まで) なお、タイヤ、バッテリー、ハウスのビニールなどの産業廃棄物は引き取れません。買い替えた時に業者の方に引き取ってもらいましょう。



こんなにたくさんのゴミ…各家庭で減らす工夫も大切です
ゴミの不法投棄を見かけられたら役場まで連絡下さい

International Relationship

国際交流

真の交流と理解は
実際の体験による
認めあう心から

活発な国際交流…本当にスバラシイ! モンタナ州商務省長官来町



四月十七日、県が交流を続けているモンタナ州の商務省長官ジョン・ノエル氏らが本町を訪れました。

これは活発な国際交流を実施している本町をぜひ訪れてみたいとの強い希望によるものです。

始めます海外ホームステイ事業

町の中・高校生の視野を広げ、真の国際人を育てようと、『海外ホームステイ』事業を進めることになりましたので、概略をお知らせします。

- ☆対象者 中・高校生 (保護者の生活根拠が本町にある、かつ住所を有すること)
- ☆募集人員 五名
- ☆期 間 夏休み期間中 八月上旬から約十日間
- ☆個人負担金 十五万円
- ☆民泊先 カリスベル市内

国際交流はなぜ必要? 優しい心を育む国際交流

島国日本に先祖伝来から長く住む私たち日本人は、異国の文化や風習に慣れ親しむ機会が少なかったため、外国との本当の付き合い方を知らない民族だと言われます。

これは、自国を基準にして外国を単純に比較し、あるときは押し付けるなど、相手を認める精神に乏しいということです。

文化交流など、実際の交流と体験から得られる真の国際交流感覚は、人権や家庭教育、優しい人間性創造にもつながる大切なことであり、相手を認める心を持った産業や経済交流は、相互に真の発展をもたらすことができます。

もちろん、日本の文化や風習、心を守ることは大切であり、是非を考えず、何でも単純に受け入れるということではありません。

●募集中●

海外旅行や研修、ホームステイ(受け入れ含む)など、外国の方との交流の体験やレポート募集しています。連絡ください。広報たかもり 岩下



農業ニュース
AGRICULTURE NEWS

農業簿記セミナー

閉講式

昨年九月から行われていた、町主催の農業簿記セミナーの閉講式が三月二十一日に行われ、十七名の方が修了証を授与されました。

これは自家の農業経営を数値的に分析して、経営の見直しと発展に役立たせようとして行われてきたもので、受講者は毎日の忙しい仕事の後に出席し、一生懸命研修しました。今年もこのセミナーは開催されます。開講案内はあらためてお知らせします。



支え合い、認めあう精神でまちの財産である「人」を掘り起こし、みんなで誇り合いたいものです。

う」ではなく「まだまだ」という気持ちで常に持って、何でも前向きに、ひたむきに生きることが大切だと思っています。くよくよしてもいいかなと思っ生きてきただけです。

広報 お若い頃から色々な苦勞があったのでしょうか？

いえいえ、昔は日本全部の人が言うに言われぬ苦勞がありましたからね。私の体験が「苦勞」と言えるか分かりませんが、今思えば今の私の生き方を形づくったのは、若い頃からの経験の積み重ねからではあるでしょうね。

戦争体験と家族の死 辛い体験から学んだこと

私の生涯で辛い悲しい思い出は、母の死と戦争中のこと、そして二人の子どもに先立たれたことです。

私は大正五年十二月生まれで、今年八十歳。男二人、女二人の頭に生まれ、子どもの時から貧乏生活を嫌というほど経験しました。

近所の方々の温かい助けを得ながら、何とか生活していましたが、母が三十三歳で亡くなった後は、父と弟が家を守り、私と妹が他家へ手伝い奉公。もう一人の妹は養女へという生活を余儀なくされました。

幸い、私が奉公した家のご主人は理解ある方で、私に教育の機会を与えていただき、最終的に大学教育まで受けさせていただいたご恩は一生忘れることはできません。

その後、太平洋戦争が勃発し、運良く生きて帰ることができましたが、敵弾が腰のベルトをかすめたことや、すぐそばで戦友が倒れていった様子は忘れることはできません。結局、三回出征し、終戦の

知らせを聞いた時は、戦いが終わった喜びと戦争に敗れた悔しさの複雑なやりきれない気持ちでした。

復員して次に待ちかまえていたのは、妻子との貧乏生活。なんとか抜け出そうと、カンラン、白菜づくりに私が初めて着手するも、うまくいかず借金に膨らむばかりの生活でした。

そして最大の悲しみは次男が三十一歳の時の死と一昨年の娘の死でした。この時は神仏に見放された自分を知りました。今でもこの辛さは変わりませんが、この苦しみをバネにして子どもの方までしっかり生きていくことが子どもたちへの供養にもなると思い、「まだまだ」という気持ちで強くなりましたね。

「たかもりパワー人間」大募集

産業（観光、農、林、商、工業など）、仕事、福祉、ボランティア、地域おこし、環境保護、動植物愛護、教育（家庭、社会、学校、保護者会）国際交流、文化、芸術、スポーツ、趣味、特技などなど…やる気とパワーで頑張っている方の情報をお寄せください。（年齢は問いません。高森在住者か高森出身者に限ります。）

ゲートボールに生きる

今は妻と二人だけの生活ではありますが、私にはゲートボールがあります。雨が降らない限り、バイクでコートからコートへ回るのが楽しみです。近頃、段々とゲートボールが衰えている状況は寂しいですが、妻と二人、ダイヤモンド婚目指して頑張ります。

老いの日々
生きるしるしの日記書く
無理せず 怒らず
くよくよするな



「たかもりパワー人間」登場

80歳のお年寄り ワープロで文章作り

さだくに
甲斐定国さん 大字尾下

大字尾下・下山の甲斐定国さんは八十歳の高齢ながら、ワープロに挑戦し、手紙や日記もきれいに作成されています。

甲斐さんはこれまで、町の駐在員や老人会の役員などを歴任され、地域づくりに貢献。「まだまだ」を信条として、何事にも前向きに取り組んでおられます。

戦後五十年特集に投稿いただいたのですが、ワープロでの文書作成はすごいと思い、今回お邪魔して特集しました。

ワープロの難しさ

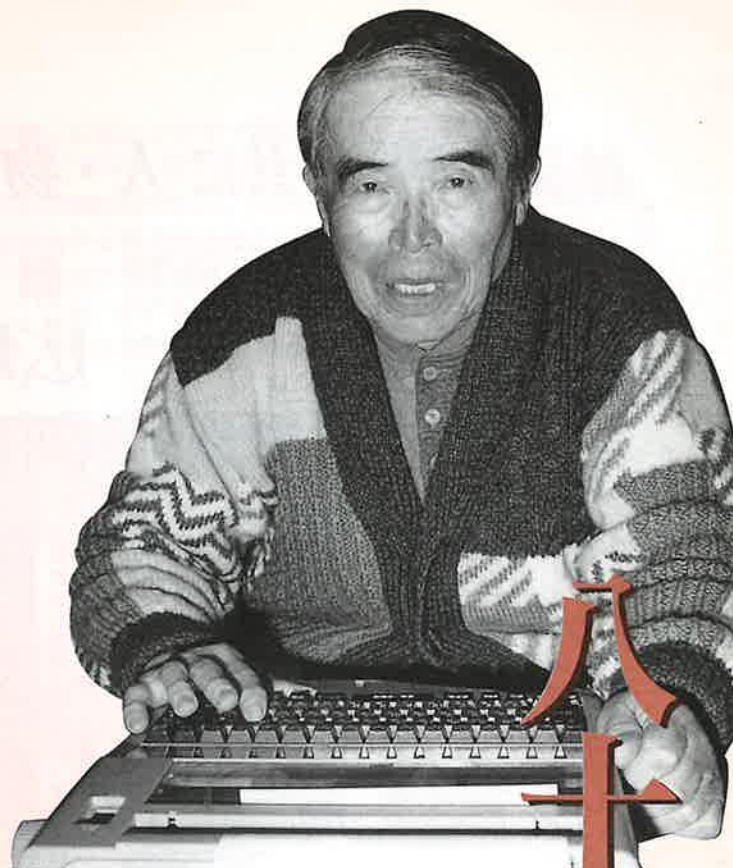
このように文字は何か打てるようになりましたが、今度のは作った文書を記録、保存させたり、紙への印刷に一苦労。役場の野尻出張所の職員さんに習いながら、何とか出来る様になり、何事もやってみることに実感しました。

前向き・ひたむきに生きる

広報 町駐在員や老人会活動などで、町や地域のために貢献いただいたようですね。

いいえ大したことは出来ませんでした。地域への恩返しという気持ちでやってきただけです。

私は老いたから「もうも



の手習い

ワープロを始めたきつかけは？

私は若い頃から機械いじりが大好きで、電気や機械製品に大変興味がありました。

四、五年前、新聞のチラシを見て「よし、挑戦してみよう」と思い注文しました。

でも、ワープロが来て説明書を見てもよく分かりませんでした。でも、「八十の手習い」はやっぱり難しいと思いました。たが、とにかくキーボード（文字や数字を入れるためのもの）を押してみると文字が画面に出てきましたので、感覚的に何とか覚えていったというところですね。

ワープロの良さは？

ワープロは指先を使いますし、頭も使うので私たち年寄りには良いと思います。もともと、手紙や日記など文章を書くのは好きで、新聞にもよく投稿しました。周りの皆さんからは「あんたは字が書けん訳じゃないのに、何でワープロばすの？」と言われてますが、書くよりも早いし、忘れていた文字を思い出すし、文書を記録保存できますからね。同じような文書を作る場合はその文書呼び出してきて、少し変更するだけでいいですから便利です。



ハナシノブ自生地が希少生物保護区に設定

本町のハナシノブ自生地を守ろうと、環境庁、県、町では具体的な取り組みを進めています。このほど土地所有者の方々の快いご理解とご協力により、環境庁から自生地周辺二地区8・1haが希少野生動植物生息地等保護区に定められ、その内3・07haが管理地区として開発行為が厳しく規制される見込みとなりました。

ハナシノブに限らず、私有地への入り込みによる花々の盗掘が後をたちません。

一度滅んだ種は二度と再生することはできないことを忘れず、みんなで自然保護の重要性を認識したいものです。

本誌では自生地が分かる表記は一切致しません。

はなしのぶコンサート 開催のお知らせ

6月23日（第4日曜日）
午前10時半から
阿蘇野草園
はなしのぶ広場
（南阿蘇国民休暇村隣）



雨天の場合は、「国民休暇村セントラルロジ」で開催

毎年「6月の最終日曜日に開催」とされていたのを、今年から「6月の第4日曜日に開催」と変更されました。

これにより、来年は六月二十二日に開催されることになります。

アイラブゆうちゃん



年度も改まるこの時期、皆さんは心構えも新たに一年間の目標と計画をたてられたことと思いますが、今年は読書の目標もたててみてはいかがでしょうか。

高森町中央公民館図書室の昨年度の利用状況は、貸出冊数五百六十五冊。利用者数は三百人でした。今年度も更にご利用ください。

また、町と県の移動図書も定期的に巡回しています。本年度も「広報たかもり」などによってお知らせしていきますので、活用してください。

新着図書紹介 (二部)

大地の子 山崎 豊子著
原野の子ら 吉田 優子著
脳内革命 春山 茂雄著
朝出勤前九十分の奇跡 野村 正樹著
はじめての手話 木村 晴美著
おもてなしの和食 内野住光子著
かあさんのひみつ 立花あさこ著

町の移動図書

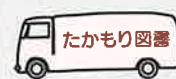
五月十四日 (火)
草部出張所 10時～10時半
JA草部 11時～11時半
野尻出張所 13時～13時半
JA河原 14時～14時半

五月十五日 (水)
JA色見 10時～10時半
JA上色見 10時半～11時
横町A団地 13時～13時半
下町公民館 13時半～14時
須坂団地 14時～14時半

BOOK

公民館
図書室だより

蔵書数 4329冊



町の移動図書の巡回があります。ご利用下さい。

俳句

(野尻あけび句会)

わがまゝも閉されしまゝ菜種梅雨
初咲きの水仙供ふ姉の墓
畦焼きの一直線に舐めてゆく
日輪の雲間に淡き菜種梅雨
入学や巣立つ孫あり山笑ふ
孫達にだまされ通し四月馬鹿
芹の香を好んで食べし父恋し
深々と帽子かぶりて新人生
軒先を借りてバス待つ春の雨

野尻 誓道
草村 鶴代
阿南はじめ
熊谷 つ子
甲斐しづ子
甲斐 康利
野尻 美穂
長友 たつ子
野尻 里女

肥後狂句 弥生

(阿蘇御神火会)

鼻ひげ 野焼きで焼いて戻らした
手に負えん 牛か馬ならつないどく
もつらかし いらん中傷さしたけん
許してね 独り暮らしも飽きました
鼻ひげ 三軍叱咤した遺影
許してね 拳式の筈が松葉杖
やつと春 本校で勉強さるる
許してね 僕の彼女は登山靴
手に負えん パソコンな据えとらすだけ

田上 黙公子
林 不忘
堀田 蘇仙
馬原 馬笑
岡本 琴司
林田 一声
渡辺 雲海
浦塚 南天
松野 笑声

文芸

POETRY PAGE

トロッコ列車の運行

10月まで1日2往復します。

高森発 午前9時40分
午後1時36分
立野発 午前11時43分
午後3時50分

(春・夏休み期間中は毎日運行。通常は土・日曜と祝日だけの運行)

乗車料金

高森-立野間
大人530円 小人270円



無事故を願って安全祈願

今年で開業十年目の南阿蘇鉄道で四月一日午前九時半、トロッコ列車の発車式が行われました。

式では「一日駅長」の高森保育園児、石井大地君の出発台図により同園々児たちの手でくす玉が割られる中、トロッコ列車は静かに動き出しました。

この一番列車に乘ろうと県内外からたくさんの方が訪れ、前後二両の可愛らしい機動車と今年黒から阿蘇をイメージして赤に塗り変えられた客車(根子岳と高岳)に見入っていました。

今年もたくさんのお客に素晴らしい思い出を作ってくれることでしょう。

トロッコ列車 今年も出発進行!

みんなのひろば LOCAL EVENTS
南鉄サロン



ボランティア
Volunteer



高森東中学校 梅香苑でボランティアと交流

2月24日の土曜日、特別養護老人ホーム梅香苑において、高森東中の皆さん(現3年生)がボランティアとして介護体験、食事の介助などによるお年寄りとの交流を行いました。

これは全国老人福祉施設協議会の「老人ホーム1日体験事業」として行われたもので、世代間交流により人間愛やボランティア意識を育むことを目的にしたものです。

社会福祉
協議会だより

9時から15時まで (20)